

“今年も無事故!!”

～新年の 新たな誓い 交通事故防止～

明けましておめでとうございます。

本年も、会社を挙げて交通事故防止へのご努力をお願いいたします。組合も精一杯お手伝いさせていただきますので、よろしくをお願いいたします。

事故防止のコツの一つは、“ドライバーを一人にしないこと”です。運行管理に当たる皆さんの機微を捉えた“一声”が、社内の風通しを良くし、組織の一員としての自覚を高め、落ち着いて安全運転ができる環境をつくれます。

明るい態度で、安全運転、士気高揚に結びつく“一声”をお願いします。

<ドライバーへの“一声”のポイント>

健康管理面

点呼や挨拶等から体調等を確認し、声掛けの内容を深めましょう。

「風邪ひいた？ 薬は飲んだ？」「薬の種類は？」...眠気等を催す薬を服用している場合は要注意

心理面

日頃のコミュニケーションから、ドライバーに応じた声掛けをしましょう。

イライラ、精神不安定状態：「精神状態は、急ハンドル・急発進・急ブレーキとして運転に現れるよ。まずは一呼吸...」

心配事：「奥さん、どう？」「子供さんは元気になった？」...心配事が深いようであれば、別室で個別に相談

運転面

ドラレコ記録や事故体験から、事故に繋がる原因を相互に確認しましょう。

ドラレコ映像を見たり、事故体験やヒヤリ・ハット体験を話し合いし、「俺の運転は、こんな欠点があったのか...」など、気付きを与え運転態度を改善